

令和4年6月17日

課名 企業局上下水道システム企画担当

担当者 課長 山田

内線 4369

県営水道に係る広域運転監視システム構築業務の 受託者の決定について

1 要旨

令和3年1月にとりまとめた「上下水道DXの推進」に掲げた具体的取組の一つである「広域運転監視システム」について、システム構築業務の受託者が決定したので結果を報告する。

2 現状・背景

- 県営水道施設の運転監視システムは、施設ごとにベンダー（メーカー）の独自仕様となっていることから、システム間でのデータ互換性がなく、データ利用が各システム内で完結するなど、データの利活用は限定的な状況にある。
- このため、国が定めた共通ルールに基づいて、水道施設の運転監視データや施設情報等の各種データを、異なるシステム間でも横断的に活用できるよう広域運転監視システムを整備し、業務の効率化を図ることとしている。
- 広域運転監視システムについては、令和7年度の本稼働を目標に、令和4年度からシステム構築を開始することとしており、4月に事業者を公募している。

3 概要

(1) 受託者

日立製作所・水みらい広島 広島県水道広域運転監視システム構築業務共同企業体

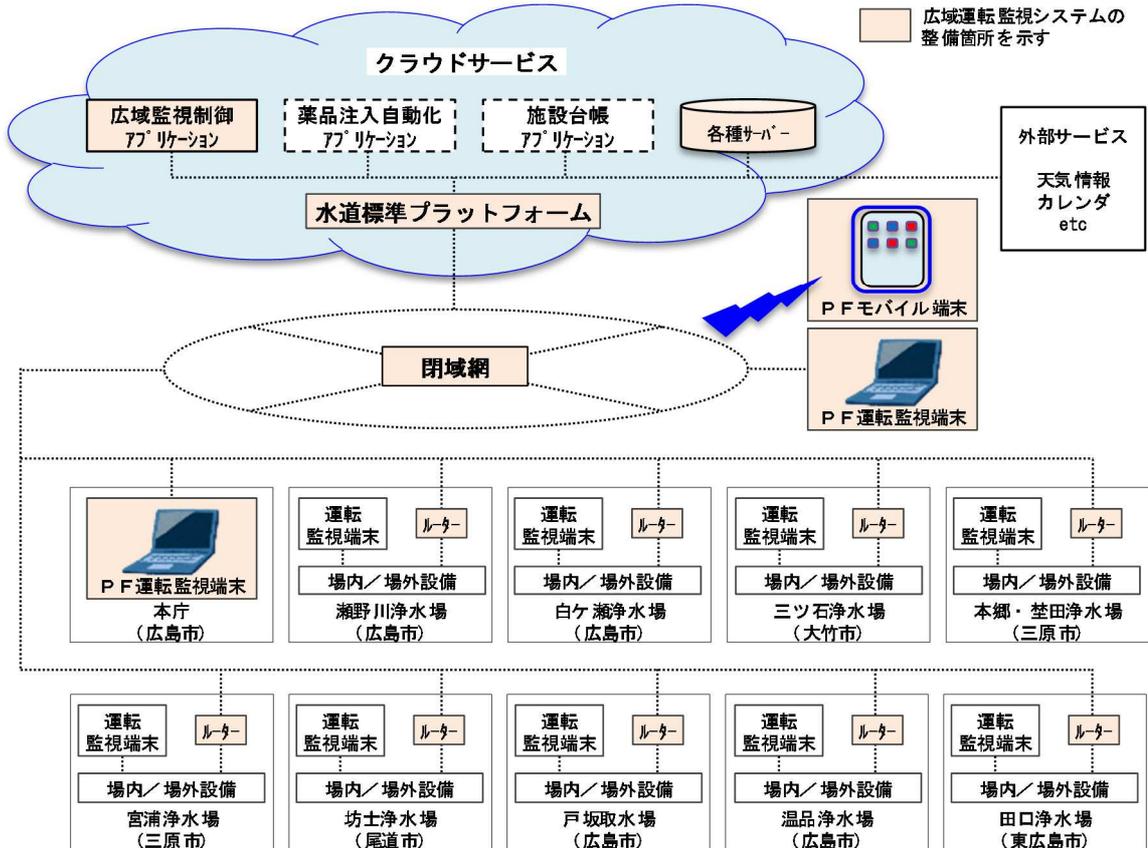
(2) 取組内容

- 県営水道にある運転監視システム（9か所）について、セキュリティが担保されたクラウドを活用し、どの施設からでもすべての施設の運転状況の監視や操作が可能となる広域運転監視システムを整備する。

ア 契約内容

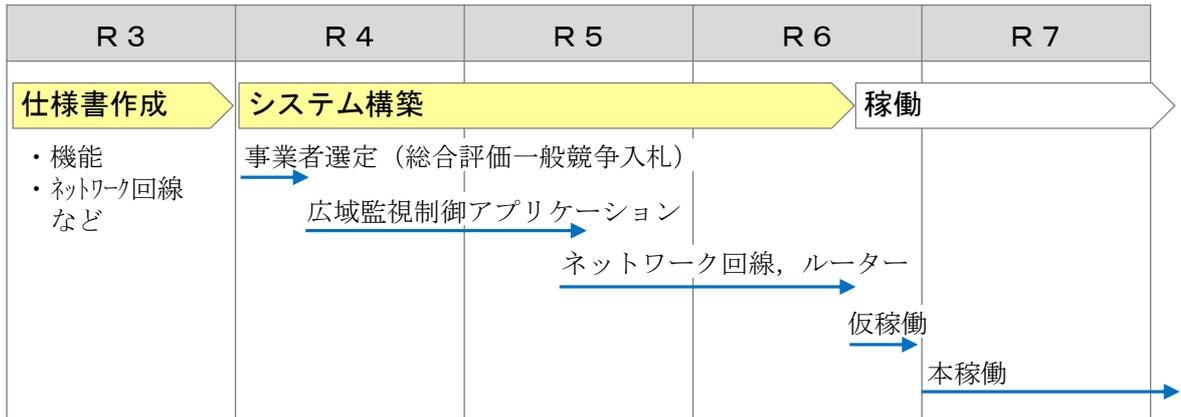
業務名	広島県水道広域運転監視システム構築業務
委託内容	システム構築 一式 (広域監視制御アプリケーション, ネットワーク回線, ルーター等)
契約締結日	令和4年6月9日
委託期間	令和4年6月9日から令和7年3月31日まで
契約額	1,023,000千円(税込)
入札方式	総合評価一般競争入札

イ 広域運転監視システムのイメージ



(3) スケジュール

令和7年度からの本稼働に向けてシステム構築を進める。



(4) 予算 (国庫・単県)

1,694,000千円 (令和6年度までの債務負担行為)